

2008 年度

科目名 日本民俗学 B	対象学科・学年 文学部全学科 2 回生 人間人社 2 回生	担当者 角南 聡一郎
授業テーマ モノからみた民俗学		
授業の概要と目標 農具、漁撈具などを題材に、考古資料も含めたモノをめぐる民俗学を紹介します。さらに、民俗学・民具学が現代社会にとどのようにかわるべきかを、博物館における民具などの展示の問題と関連させながら考えていきます。		
評価方法 出席及び授業時の不定期試験とレポート、により成績評価を実施します。		
テキスト 特になし	テキスト 特になし	テキスト 特になし
参考書 民俗学がわかる事典	参考書 民俗学がわかる事典	参考書 民俗学がわかる事典
授業スケジュール・内容 1. 民俗学と農耕用具(1) 原始・古代の農耕用具について 2. 民俗学と農耕用具(2) 中世・近世の農耕用具について 3. 民俗学と農耕用具(3) 近現代の農耕用具について 4. 民俗学と漁撈用具(1) 原始・古代の漁撈用具について 5. 民俗学と漁撈用具(2) 原始から近世の漁撈用具について 6. 民俗学と漁撈用具(3) 近現代の漁撈用具について 7. 民俗学と山樵用具(1) 中世・近世の山樵用具について 8. 民俗学と山樵用具(2) 近現代の山樵用具について 9. 民俗学と生活用具(1) 原始・古代の生活用具について 10. 民俗学と生活用具(2) 中世・近世の生活用具について 11. 民俗学と生活用具(3) 近現代の生活用具について 12. 民俗学と信仰用具(1) 原始から近世の信仰用具について 13. 民俗学と信仰用具(2) 近現代の信仰用具について 14. 民俗学・民具学と考古資料 民俗学及び民具学と出土近現代資料との関係について考える。 15. 民俗学・民具学の今日的意義と可能性 民俗学・民具学は現代社会においてなぜ必要か？博物館活動とどのように関わっていくべきかを時事問題に照らしながら考える。		